



TRI10周年記念シンポジウム
1st World Centenarian Initiative

脊髄損傷に対する 革新的治療法開発の現状と展望

参加無料 先着**300名**
※事前申し込み必要
受付開始：11月25日より

申込み <http://www.tri-kobe.org>

日時 平成26年**1月19日(日)**
9:00~12:00 開場 8:30

場所 **JA共済ビル カンファレンスホール**
東京都千代田区平河町2-7-9



<アクセス>
東京メトロ有楽町線、
半蔵門線、南北線
永田町駅4番出口
徒歩約2分

プログラム

9:00~9:05	開会の辞 福島 雅典 ((公財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター)
セッション1	脊髄損傷の現状と展望
9:05~9:15	座長 福島 雅典 ((公財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター) 「日本せきずい基金の活動、せきずい損傷患者の思いと治療法開発への期待」 大濱 眞 (日本せきずい基金)
9:15~9:25	「脊髄損傷に対する幹細胞臨床試験の概観」 尾前 薫 ((公財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター)
9:25~9:50	「脊髄損傷の病態生理と治療法開発へのアプローチ ~見えてきた未来~」 吉峰 俊樹 (大阪大学)
セッション2	脊髄損傷および難治性疾患に対する 革新的リハビリ法の開発
9:50~10:05	座長 金谷 泰宏 (国立保健医療科学院) 「HAL最前線・医療への挑戦」 山海 嘉之 (筑波大学・CYBERDYNE株式会社)
10:05~10:20	「HAL clinical trial in Germany for patients with spinal cord injury」 Thomas A. Schildhauer (BG-University Hospital 'Bergmannsheil')
10:20~10:35	「脳、脊髄、神経・筋疾患に対するHALの医療応用の基本戦略 - 医師主導治療の経験から」 中島 孝 (国立病院機構新潟病院)
セッション3	脊髄損傷に対する幹細胞治療の開発
10:35~10:50	座長 吉峰 俊樹 (大阪大学) 「脊髄損傷に対する骨髄間質細胞を用いた基礎的研究」 井出 千束 (藍野大学)
10:50~11:05	「自家骨髄由来細胞による脊髄損傷の治療」 鈴木 義久 (北野病院)
11:05~11:20	「自家骨髄間葉系幹細胞の静脈内投与による脊髄損傷治療」 山下 敏彦 (札幌医科大学)
11:20~11:35	「嗅粘膜移植による脊髄神経再生治療」 岩月 幸一 (大阪大学)
セッション4	パネルディスカッション
11:35~11:55	座長 吉峰 俊樹 (大阪大学) & 中島 孝 (国立病院機構新潟病院)
11:55~12:00	まとめと閉会の辞 「脊髄損傷治療法の今後の展望」 福島 雅典 ((公財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター)

※プログラムの内容は予告なく変更される可能性があります。